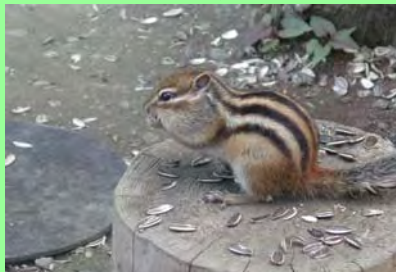


鍾乳洞に生息する動物類

エゾシマリス



公園内全域で見かけることができます。前足を口元にもっていき、口一杯に木の実などを詰めたと表情はとても可愛いですよ。

エゾリス



公園内全域で見かけることができます。シマリスより大きく毛が長く、黒みの濃い毛色をしています。主に樹上で生活していることが多いようです。

エゾライチョウ



6月中旬頃からひなが浮化し、道路わきなど親子で散歩している所を見かけることができます。ピー・ピビビと笛のような鳴き声が特徴です。



凡 例

- 管理用道路
- - - 遊歩道 (一般遊歩道)
- - - 遊歩道 (車椅子対応)
- - - 遊歩道 (既設遊歩道)
- 四 阿

エゾサンショウウオ



春、雪解けを待って始まる産卵。親水池の中の朽木などに絡みついた乳白色の卵が、池一面を覆いつくすほどで、春の名物となっています。親が卵の側にひっそりと見守っている様です。

ニホンザリガニ



近年、開発や水質汚染により姿を見ることが少なくなっています。公園内を流れるきれいな沢水はニホンザリガニが生息できる心地よい環境となっています。(絶滅危惧Ⅱ類に指定されている)

エゾシカ



夏毛は茶褐色に白い点々の模様があり、冬毛は灰褐色になります。角はオスだけが持ち、毎年春になると自然に落ちます。近年、道の保護政策により頭数が増えている状況です。